

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

たつの市立龍野東中学校（兵庫県）【指定校】

## 【取組内容】 集団の中で個性を輝かせ、協働で学びを深める授業改善 【①】

**1 <はじめに>**

本校では、GIGAスクール構想により整備されたICT環境を最大限に活用することで、集団の中においても個々の生徒の良さや可能性が埋没することなく、一人ひとりが輝き、互いの考えを組み合わせることで、より深い学びを生み出す授業づくりを目指してきました。

**2 <具体的な工夫>**

- (1)個の考えを引き出し、可視化する工夫として、問いに対して生徒は、オンラインアンケートツールやチャットを用いて回答。
- (2)異なる考え方を組み合わせ、新たな気づきを生み出す工夫として、自分の意見などをデジタル付箋ツールに書き出し、オンライン上で共有し、自分と異なる意見を持つ生徒とペアになり、オンラインディスカッション。議論の際には、単に自分の意見を主張するだけでなく、相手の意見を尊重し、質問や反論を交えながら、多角的な視点から考えるよう促しました。自分たちの議論の内容を共同編集ツールを用いてまとめ、クラス全体で発表。
- (3)互いに学び合い、高め合う関係を築く工夫として、発表後、生徒は他のペアの発表を評価。

**3 <実践の効果>**

生徒の主体性の向上、対話の活性化、深い理解の促進、協調性の育成、教員の役割の変化

**4-1 <成果>**

集団の中でも個々の生徒の考えを引き出し、異なる考え方を組み合わせることで、より深い学びを生み出すことができると実感しました。特に、ICTツールの活用は、生徒の主体的な学習活動を促し、対話的な学びを活性化する上で非常に有効であることが確認できました。

**4-2 <課題>**

ICT環境の安定性や、生徒のICTスキル格差への対応などが挙げられます。また、時間配分や、生徒の発言の偏りを防ぐための工夫など、授業設計の面でも改善の余地があると感じました。

**5 <今後の展望>**

ICTツールのさらなる活用  
 教員研修の充実  
 生徒のICTスキル向上  
 評価方法の改善

